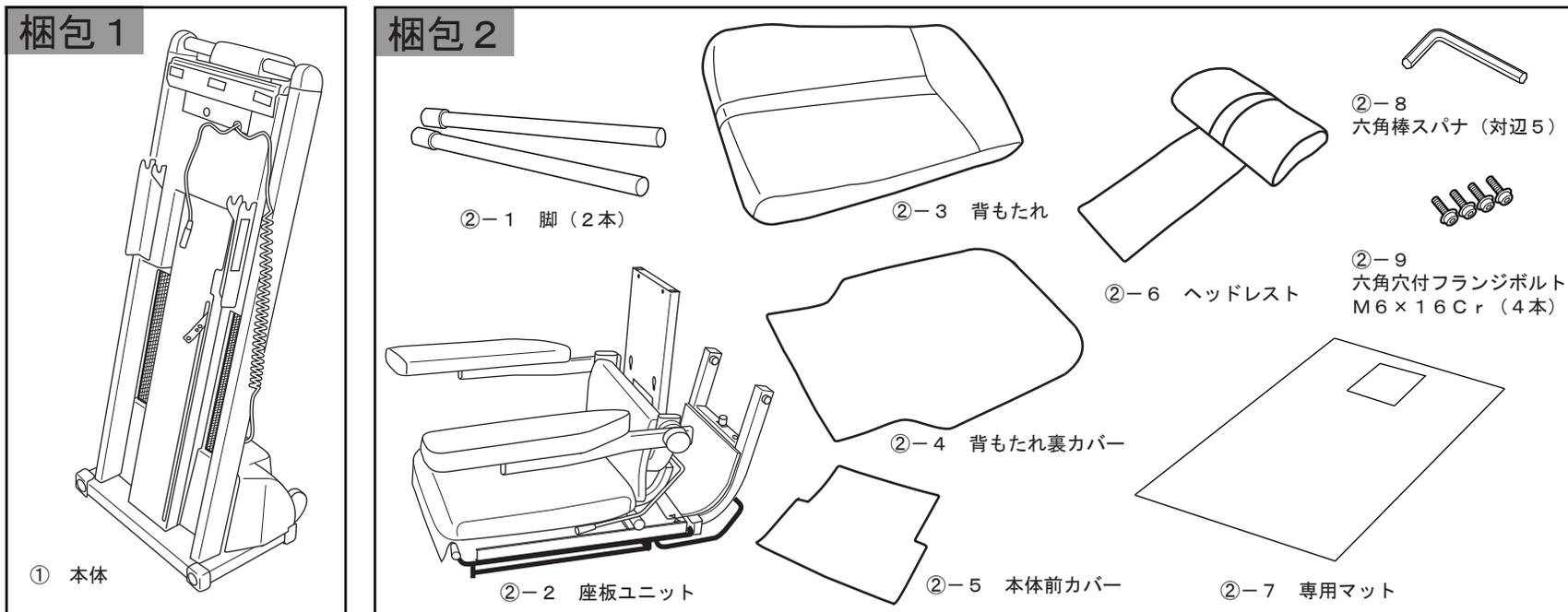


組み立て前に、この「組立説明書」をよくお読みのうえ、内容に沿って、正しく組み立てて下さい。この説明書では製品を安全に正しく組み立てていただくために、必ずお守りいただくことをお知らせしています。

お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守り下さい。説明内容を見逃し、誤った組み立て方をしたときに生じる危険や損害の程度を、下の表示（絵表示と用語）で区分し、説明しています。

表示	意味
 <b>警告</b>	誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。
 <b>注意</b>	誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

## 梱包内容 (本製品は2梱包です)



※組み立ての前に取扱説明書「安全上のご注意」を必ずお読みください。

※数量の記載のないものは全て1個です。

## 組立手順 (製品を倒しての組立は行わないで下さい)

1 脚【2-1】、座板ユニット【2-2】を取り付ける。

①: 本体【1】下部に脚をさし込み(2ヶ所)、右方向に止まるまで回して固定します。

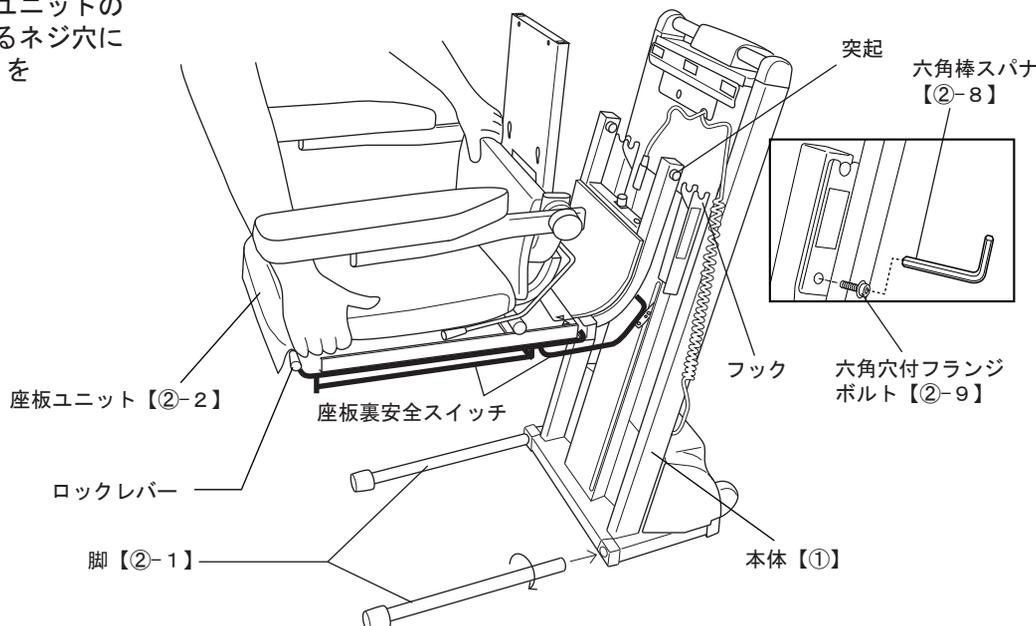
②: 本体前面中央部の両端にあるフックに、座板ユニットのフレーム上部の突起をはめ込み、その下にあるネジ穴に六角穴付フランジボルト【2-9】(2ヶ所)を六角棒スパナ【2-8】で締めつけます。

### 注意

製品を倒しての組立は行わないで下さい。故障の原因となります。

ロックレバーには触れないでください。座板が回転して、落下などでけがをすることがあります。

座板裏安全スイッチを持たないでください。故障の原因となります。



## 2

### リンクを連結する

- ①: 本体【①】を正面から見て、座板ユニットの右下にあるボルト（赤色）を六角棒スパナ【②-8】で取り外します。

#### ⚠ 警告

座板ユニットのボルト（赤色）は本体に座板ユニットを取り付ける前には取り外さないでください。  
座板がスライドしてけがをするおそれがあります。

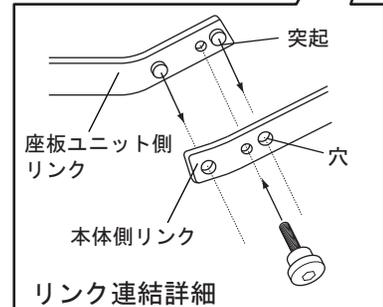
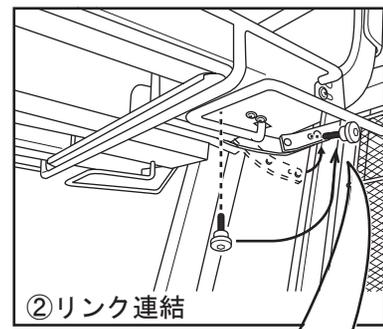
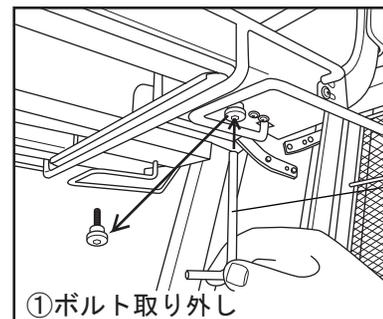
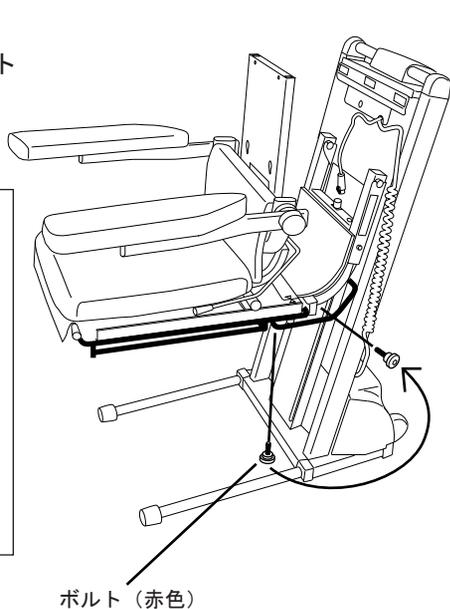
座板ユニットのボルト（赤色）を外した状態で使用（座ったり、昇降させたり）しないでください。  
本体が破損してけがをするおそれがあります。

- ②: 本体側リンクと座板ユニット側リンクを連結します。  
①で取り外したボルト（赤色）を六角棒スパナ【②-8】で固定します。

#### ⚠ 注意

**必ずリンクを連結して下さい。**  
座板ユニット側のリンクの突起と本体側リンクの穴を合せてからボルト（赤色）を確実に締め込んで固定して下さい。  
リンクが破損してけがをするおそれがあります。

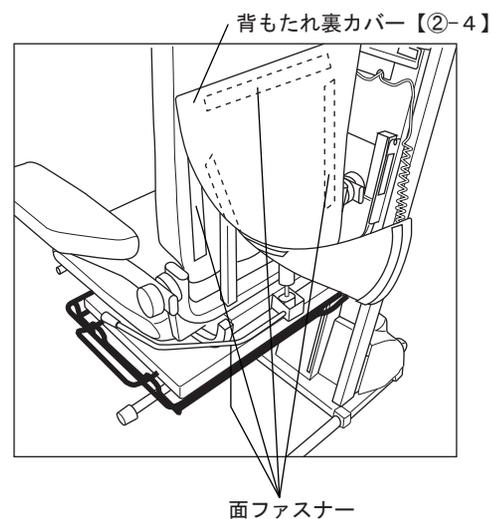
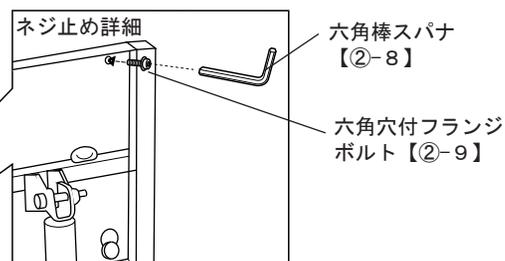
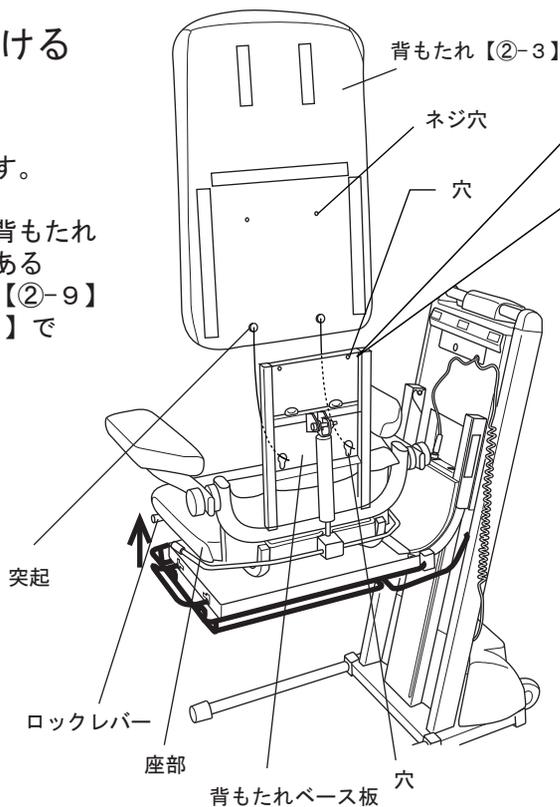
製品を横倒しにしての組立は行わないで下さい。  
故障の原因となります。



## 3

### 背もたれ【②-3】を取り付ける

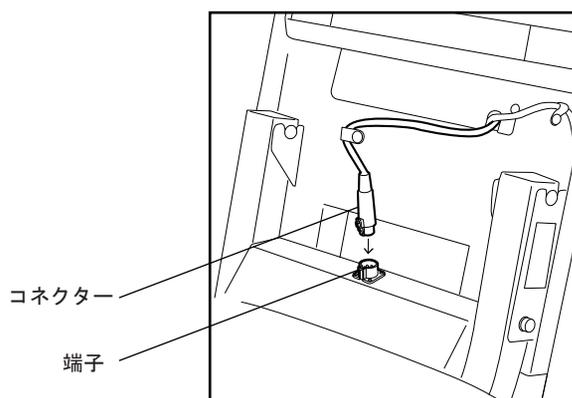
- ①: ロックレバーを上引き上げ、座板ユニットの座部を回転させます。
- ②: 座部の背もたれベース板の穴に、背もたれ裏面の突起をはめ込み、その上にあるネジ穴に六角穴付フランジボルト【②-9】（2ヶ所）を、六角棒スパナ【②-8】で締めつけます。
- ③: 背もたれ裏カバー【②-4】を面ファスナーで止めます



## 4

### コネクタを接続する

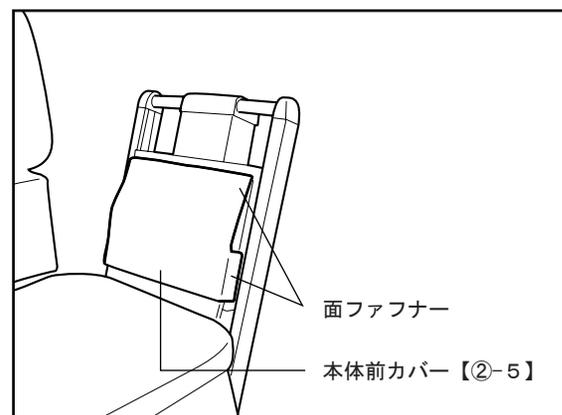
本体前面中央部から下がっているコネクタを座板ユニット後部にある端子につなぎます。



## 5

### 本体前カバー【②-5】を取り付ける

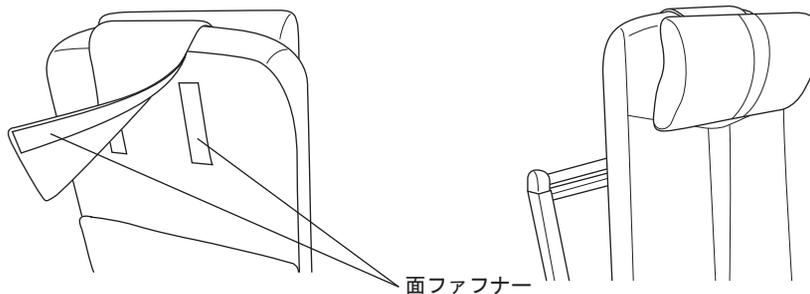
本体【①】前面中央部を本体前カバーで覆い、面ファスナーで止めます。



## 6

### ヘッドレスト【②-6】を取り付ける

ヘッドレストを背もたれ【②-3】裏面にある面ファスナーで止めてください。  
ヘッドレストの面ファスナーの止める位置を変えると好みの高さにできます。



### 本体下に専用マットを敷く

本体設置説明書シールの上に本体ベースを載せてください。  
専用マットの左右の幅の中央になるよう本体を載せてください。  
本体ベースのキャップを専用マットの端に合わせてください。

**⚠ 注意**  
本体使用時は専用マットを敷いてください。  
座板のスライド時、転送車輪により床面にキズがつくおそれがあります。

## 組立チェック表 (試運転する前に組立チェックを行って下さい)

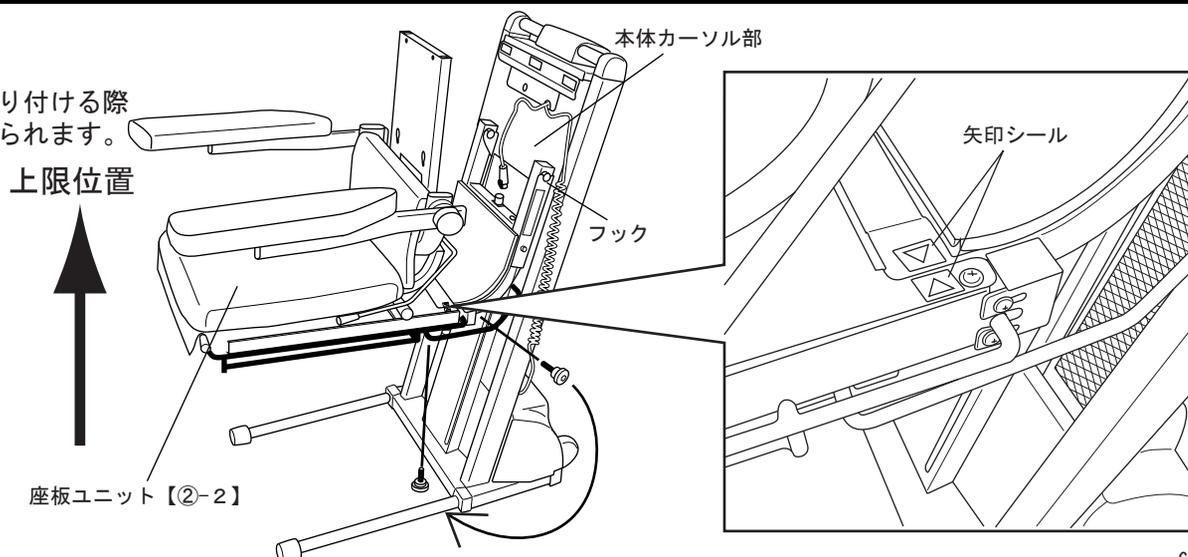
チェック欄	内容	記載箇所
<input type="checkbox"/>	脚は固定されていますか？ (2ヶ所)	P1-1 ①
<input type="checkbox"/>	座板ユニットは六角穴付フランジボルトで固定されていますか？ (2ヶ所)	P1-1 ②
<input type="checkbox"/>	リンクは正しく連結されていますか？	P2-2 ①②
<input type="checkbox"/>	背もたれは六角穴付フランジボルトで固定されていますか？ (2ヶ所)	P2-3
<input type="checkbox"/>	コネクターは確実に接続されていますか？	P2-4
<input type="checkbox"/>	本体前カバーは取り付けられていますか？	P2-5
<input type="checkbox"/>	上下動レバーのコードはクリップに正しくはめ込まれていますか？ (3ヶ所)	P4
<input type="checkbox"/>	本体下に専用マットが敷かれていますか？	P3

## 分解手順 (分解は座板ユニットを上限位置にして行って下さい)

組立手順と逆の手順で行ってください。

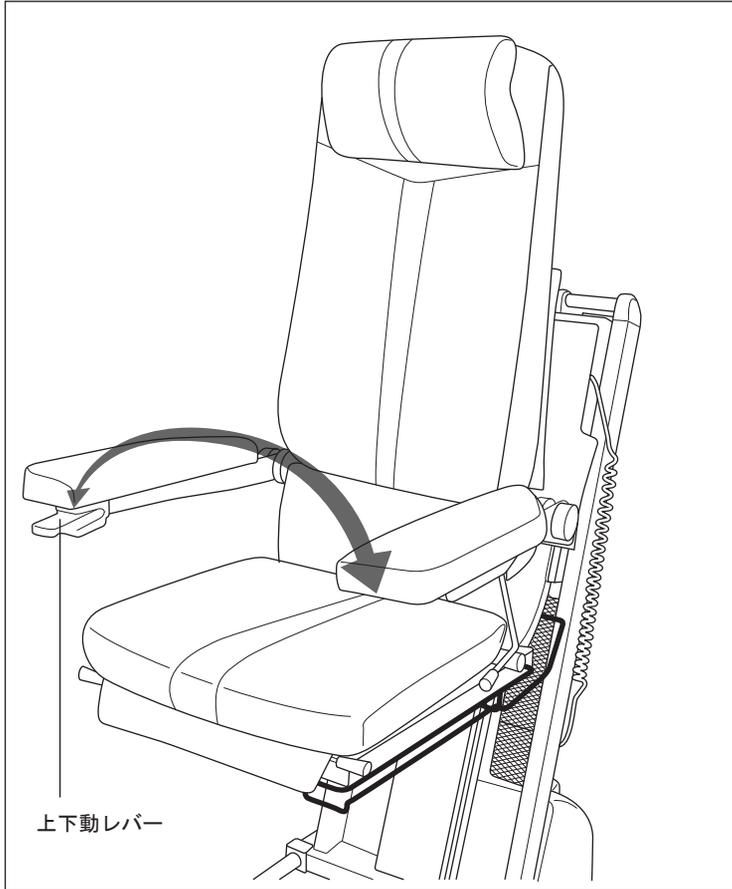
※座板ユニット右下にボルト (赤色) を取り付ける際  
矢印シールを合わせると容易に取り付けられます。

分解後はフック (本体カーソル部) を  
上限位置にしたままの状態  
で保管して下さい。

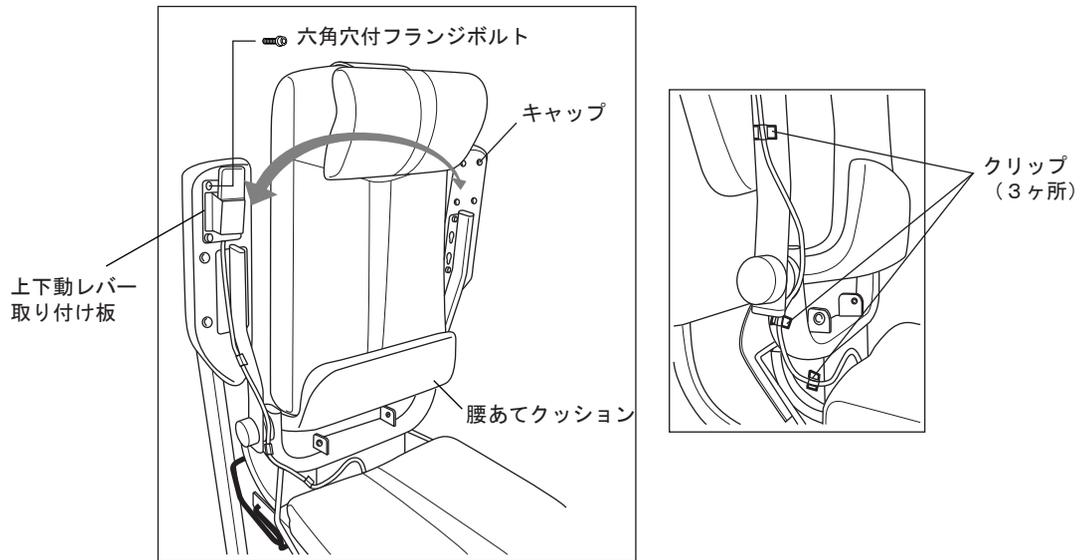


# 上下動レバーの入れ替え

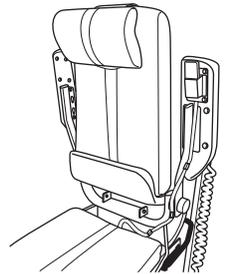
本製品の上下動レバーは、ご使用者の利き手や使いやすさに応じて右側から左側へ付け替えることができます。



- 1 右腕側のクリップからコードを外し（3ヶ所）上下動レバー取り付け板の六角穴付フランジボルトを六角棒スパナ【②-8】で取り外します。次に左腕側のキャップ（4ヶ所）を外しておきます。そして腰あてクッションをめくり、上下動レバー取り付け板とコードを左腕側へ移動します。



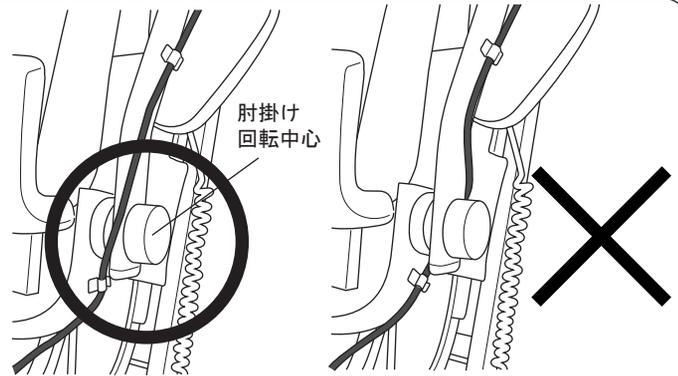
- 2 1と逆の手順で左腕側に上下動レバー取り付け板を取り付けコードをクリップにはめ込みます。1で外したキャップは右腕側にはめ込みます。  
アームレストを上げ下げした時にコードに無理な力がかからないことを確認してください。



## 警告

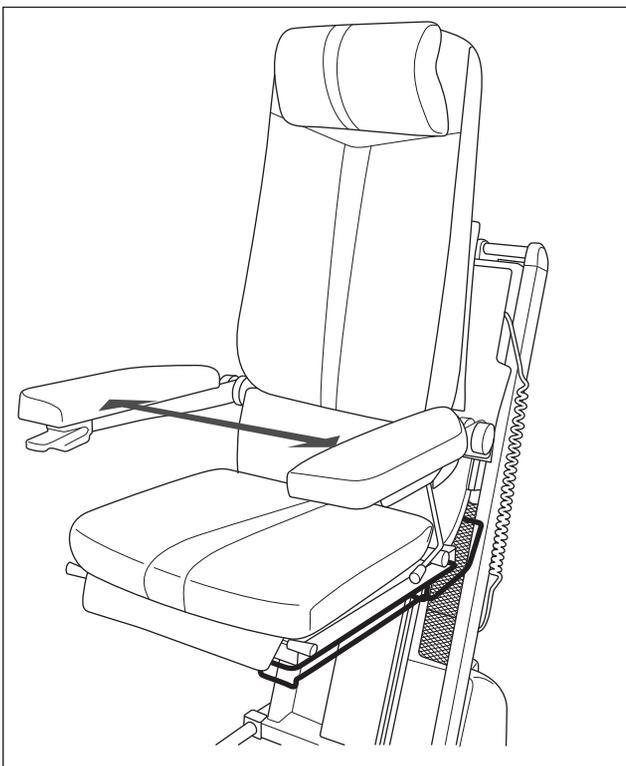
コードをクリップにはめ込む時は肘掛け回転中心より手前にコードをとおしてください。

外側にコードをとおすと、肘掛けを下ろした時にコードが切断されて感電するおそれがあります。

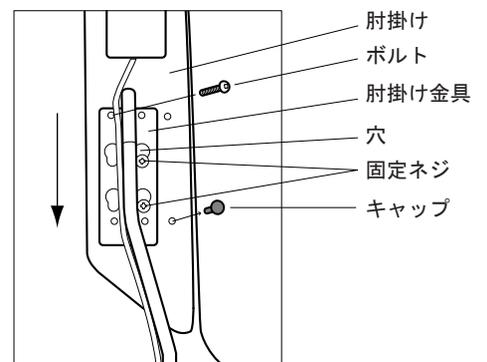


# 肘掛け間隔の調節

本製品の肘掛け内寸の間隔は、ご使用者の体型や座りやすさに応じて調節できます。肘掛けの取り付け位置を変更することで38cmが44cmに広がります。



- 1 肘掛け裏のボルト（2本）とキャップ（2個）を外します。肘掛けを↓方向にずらすと肘掛け金具の穴から固定ネジが外れ、肘掛けが外れます。



- 2 肘掛け裏の固定ネジを肘掛け金具の外側の穴にはめ込み、内側のネジ穴にボルト（2本）を外側のネジ穴にキャップ（2個）を取り付けます。

- 3 反対側の肘掛けを上記1、2の手順と対称に行ってください。

